学校長あいさつ

福岡市立生の松原特別支援学校
校　長　　釘　宮　　正　次

１　本校の教育について

本校は昭和 54 年に開校した特別支援学校で、福岡市の西区・早良区・糸島地区から小学部・中学部・高等部の児童生徒が通学しています。令和 4 年度は小学部 1 年生から高等部 3 年生まで 394 名が在籍しております。

今日、特別支援教育においては、障がいの多様化が言われていますが、本校においても同様で、本校に在籍する子どもたちの教育的ニーズも多様化している状況があります。そのため、教職員が多様な障がいを理解し、指導・支援のあり方についての専門性を高めること、そして、地域社会で豊かに生きるための子どもたちの将来像を保護者と共に描きながら、めざす学校像・めざす子ども像を確かなものにするために日々の教育活動を進めていくことが重要だと考えております。

２　本校教育の目標（自立と社会参加：最小の支援と学齢期から将来までの社会参加）

人間尊重の精神を基盤として、一人ひとりの障がいの状態や特性に応じたきめ細かな指導を行い、積極的に社会に参加し、その一員として心豊かにたくましく生きていく人間を育成する。

３　めざす児童生徒像

・元気で明るい子ども
　あいさつや身の回りのことを進んでしようとする子ども　**（あいさつ・掃除）**
・最後までがんばる子ども
　学習意欲を高め、自ら進んで学習する子ども　**（自学　とも学）**
・社会に参加する子ども
　自分の将来に夢を持ち、社会の中で自分を生かそうとする子ども　**（チャレンジ　立志）**

４　めざす学校像

・子ども達が喜んで通う学校
　・学習の内容がわかり、子どもが今日も頑張ろうと思う学校
　・その子らしさ（個性）が伸び、確かな力が育つ学校
　・ 指導方針・指導内容がよくわかる学校
・教育環境が整っている学校
　・健康を守り、安全で活動しやすい学校
　・子どもの思いが大切にされる学校
　・確かな専門性に基づく信頼のできる学校
・保護者や地域から信頼される学校
　・保護者・地域とともに歩む学校
　・学んだことが家庭や地域生活で役立ち、豊かな心をつくる学校
　・何でも相談でき、いつでも訪ねられる学校

５　めざす教師像

・子どもとしっかり向き合う教師
　・子どもと活動を共にしながら共感しあい、一人一人の育ちを実感できる教師
　・子どもの思いや保護者の思いを理解し、大切にできる教師
　・子どもが主体的に取り組む学校生活を創り出し、適切に支援できる教師
・日常の活動を大切にし、向上心を持った教師
　・教育公務員として自己の専門性を高める研修に取り組む教師
　・自己の取り組みや授業を自ら振り返り、課題に対して積極的に解決しようとする教師
・保護者や社会の信頼に応える教師
　・保護者・社会に対し「説明責任」を果たすことのできる教師